



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2014-2015年度 R I 会長 ゲイリー C.K. ホアン



第2590地区 ガバナー

大野 清一

- 会 長 山田 正憲
- 会長エレクト 江森 国一
- 副 会 長 天野 公史
- 副 会 長 鴻 義久
- 幹 事 植田 清司
- 副 幹 事 朝日 達夫
- 会 計 渡 邊 淳
- 副 会 計 白井 康夫
- S A A 小山市 康
- 副 S A A 長井 章
- 副 S A A 青柳 紀
- クラブ会報 竹山 洋



写真提供 小池将夫会員

事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555

例会日 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)

例会場 ホテルキャメロットジャパン

創立記念日 昭和 51 年 5 月 29 日

URL <http://www.kanagawahigashi.com/>

E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2014-2015年度 第7週報 No. 1848 2014年(平成26年) 8月22日 第1848回例会記録 8月29日発行

司 会

朝日 達夫 副幹事

特別行事

点 鐘

山田 正憲 会長

◎バナー交換

斉 唱

「それでこそロータリー」



総社 R.C 秋山 幸子 様

四つのテスト

角田 伯雄 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介

- 秋山 幸子 様 (ゲストスピーカー・総社 R.C)
- 重田 葉子 様 (スピーカー同行者)
- 今泉まゆ子 様 (スピーカー同行者)
- 古澤 一憲 様 (入会候補者)

本日〈8月29日〉のプログラム

夜間例会

<< 本日の BGM >>

「スターダスト、ムーンライト・セレナーデ 外」

ビジター紹介

神奈川 R.C 金野 克佐 様

誕生日祝

山本 登 会員 (8月18日)
 小山市康 会員 (8月22日)



- ・次々週9月5日は例会終了後に社会奉仕によるクラブフォーラムを開催します。大勢の出席をお願い致します。
- ・今年度の活動計画書の校正を回覧します。関係個所の確認をお願いします。確認されましたら委員会名の横にチェック済のしるしをして下さい。

出席報告

保坂 一成 出席副委員長

会員総数	55名	(33+22)名	
出席会員数	42名	(28+14)名	
出席率	87.23%		
ゲスト	4名	ビジター	1名
前回補正後	95.83%	前々回補正後	92.00%

結婚記念日祝

岡部雄一郎 会員 (9月1日)



スマイルボックス

長井 章 副SAA

神奈川R.C 金野克佐様 お世話になります。

山本 登君 ①誕生日祝い、ありがとうございます。②本日、所用にて早退致します。

小山市康君 誕生日祝い、ありがとうございます。童心に帰って奮起したいと思います。

岡部雄一郎君 結婚祝い、ありがとうございます。

山田正憲君 ①秋山様、本日の卓話、よろしく申し上げます。②古澤様、今泉様、重田様、ようこそいらっしゃいました。

月山 勇君 ①先日は伊東・山本、前年度会長・幹事さんには大変お世話になりました。②残暑お見舞い一句・・・ふところが寂しくなっても 秋遠し・・・

山田富雄君 本日も暖かい日ですね。

伊澤政宏君 本日、早退させて頂きます。周年事業委員会、出席出来ず申し訳ありません。

天野公史君 伊東直前会長、山本直前幹事、先日はお世話になりました。久々の中華街、随分変わっているところがあり、驚きました。

横溝 亘君 伊東直前会長、山本直前幹事、先日の暑気払いの会、ありがとうございました。とても楽しく、有意義な会でした。

茂木知子さん ~怪しい海水浴~赤堀さんが真っ黒に日焼けしてやってきました。海水浴に行ったそうです。中年男の海水浴、怪しい・・・。T社長の奥さんもいらしたそうですが、もう一人の同伴者が怪しい・・・。その方のお仕事は何でも透視するお仕事だそうです。青柳会員、おちがなかつたらつけて下さい。

白鳥厚夫君 広報・IT推進委員の白鳥です。神奈川東R.CのHPのスマホ版を新設しましたのでご使用下さい。

長井 章君 言いたくないけど暑いですね！

会長報告

山田 正憲 会長

- ・8月度定例理事会報告
- ・当クラブの米山特別寄付額が57,005,140円となり、57回目の米山功労クラブとなりましたのでご報告申し上げます。

幹事報告

植田 清司 幹事

- ・前回に引き続き、地区大会記念「東日本大震災チャリティーディナーパーティー」の案内を回覧します。参加を希望される方は添付の申込書に名前を明記願います。
- ・次週8月29日は夜間例会となります。

場所 キヤメロットジャパン 点鐘 18時

8月22日	12件	30,500円
本年度累計		317,580円

「経営者のためのメンタルヘルス問題」

株総合心理研究所 代表取締役 秋山 幸子 様
 (紹介者 佐藤 勝彦 会員)



産業カウンセラーを生業としていますが、日本の社会の不安心理が現代のうつ病増加や組織内でのトラブルを複雑にしています。

今日は、それについての考察なども含めてお話をさせていただきます。

産業カウンセリングの現場では、人間の一生（発達心理）を考えた心のケア・心理サポートと、働く人の心の成長やキャリア形成をサポートした形のカウンセリングが必須です。どちらも合わせて行って考えていかなくては、現代社会の中で、人間ひとりひとり、せっかく雇った貴重な人材を育てることが難しくなっているのが現実です。

また、うつ病というものについての理解と促進もまだまだ日本社会の中では、勉強が足りていない部分もあります。また、うつ病は治るといっても覚えておいてください。

特に、発達障害と呼ばれる子供たちが多くなってきている今、国や行政だけに任せず、企業内での育て方やサポートの仕方も、経営者の大切な役割となってきています。人事労務の責任者としての役割です。

メンタル疾患者への対応については、常に慎重に行っていかななくてはなりません。それは、人権問題だからです。特に、最近は労働紛争が増加してきていますので、私へのご相談内容も、パワハラでウツになった社員やご家族からのものもあります。

《スライドより》

『自分と組織のために復習しておきたい 厚労省発表のパワハラ6つの定義』

- (1) 身体的な攻撃（暴行・傷害）
- (2) 精神的な攻撃（脅迫・暴言等）
- (3) 人間関係からの切り離し（隔離・仲間外し・無視）
- (4) 過大な要求（業務上明らかに不要なことや遂行不可能なことの強制、仕事の妨害）

- (5) 過小な要求（業務上の合理性なく、能力や経験とかけ離れた程度の低い仕事を命じることや仕事を与えないこと）
- (6) 個の侵害（私的なことに過度に立ち入ること）

また、これらは、役職の上下に関係なく、同僚同士でも、部下から上司にでも適応され、もちろん性別も関係ないので、誰が加害者になってもおかしくないのです。

この定義については、推進途中ということもあるので、まだまだ勉強されていないかた、熱心に取り組んでおられるところ、さまざまです。

今回は、せっかくの機会ですので、組織管理に有効に活用していただけたらと思いつつ復習のためにも資料としてお持ちしました。

個人的には、パワハラ定義をきっかけに日本のメンタルヘルスは本当に変わるのか？という疑問を感じることがあります。日本のEAP（社員支援プログラム）は企業体力が低下している今、どのような影響を及ぼすことになるのか？それも日本社会の課題であると私は考えております。

最後に、『経営者向け組織管理上のメンタルヘルスチェックポイント！』を行って頂きます。これは、メンタルヘルスについての対応を、組織管理で考えた時、経営者の皆さん、組織のリーダーには、必ず押さえておいて頂きたいポイントです。

経営者が知っておきたいポイントをチェックしてみてください。

- 自社の就業規則を見直していますか？（最低3ヶ月に1度）
- 人事労務責任者として、メンタルヘルス問題を意識し継続的な知識を得るようにしていますか？
- 顧問弁護士や各専門家との連携は万全ですか？
- 管理職や部下との心の交流は出来ていますか？
- 経営者が学んできたことを、自社で2次活用できていますか？もしくは、社員と共有するように心掛けていますか？

この5つに気を付けながら、組織に関わる誰もが、健全に、そしてやる気を維持しながら、企業発展のために、社会発展、社会貢献のために、仕事を全うしていただければ幸いです。

もし、皆様の会社に何かあれば、私が日本のどこからでも、世界のどこにいても駆けつけますので、その時には、どうぞ呼んでください。

皆様、本当に今日は、ありがとうございました。

ロータリーニュース

幅広く寄付を募る クラウドソーシングのすすめ

米国のある男性は、クラウドソーシング（不特定多数の人びとにオンラインで支援をよびかけること）を通じて約60,000ドルの寄付を集めました。元もとの目的は、「特別なポテトサラダを作ること」

この男性、はじめは冗談半分で、10ドルの寄付を募ったそうです。

このアイデアがオンライン上で大変な人気を呼び、多額の寄付につながったとのこと。ポテトサラダの改良に簡単に寄付が集まるのなら、お腹を空かせた子どもたちに食糧を送ったり、戦争で苦しむ国に学校を建てるための寄付も簡単に集まるのではと考えてしまうかもしれません。

しかし現実にはそう簡単にはいきません。現在、数多くの人道支援団体が、世界中で実施するプロジェクトのために競い合って寄付を募っている状態です。

では、オンラインを利用した寄付集めを成功に導くにはどうしたらよいのでしょうか。その答えは意外とシンプルです。ズバリ、「寄付をしやすくする」ことがポイントです。皆さんのプロジェクトを支援する「サポーター」にとって支援しやすい方法とは何か。以下にいくつかコツをご紹介します。

ロータリーのアイデア応援サイトを利用する

アイデア応援サイトは、ロータリーによるクラウドソーシングのウェブサイトです。皆さんがプロジェクトの主催者である場合、支援が必要なプロジェクトの概要を掲載し、寄付、ボランティア、物資を募ることができます。また、掲載されているプロジェクトにボランティアとして参加したり、寄付を行ったり、物資を寄贈することができます。

パウラ・ウィンランド・バン・ズィルさん（ザンビアのリビングストーン・ロータリークラブ）は、「アイデア応援サイトを通じて、エイズ孤児のための家づくりに必要な8人のボランティアを集めた」と話します。地元ではインターネットへの接続が不安定なので、ウェブサイトを作ったり、Eメールに頼らずにプロジェクトを広げることができる、アイデア応援サイトを活用しているというズィルさん。「プロジェクトに欠かせないボランティアを集めるのに、このウェブサイトは本当に役立ちます」

オンライン決済サービス「ペイパル (PayPal)」のアカウントを作る
オンラインで簡単に少額の寄付を送ってもらえるよう、オンライン決済サービスの「ペイパル (PayPal)」のようなサイトにアカウントを作成するのも一案です。一度に多額の寄付をお願いするのではなく、小額の寄付を簡単に送れる方法を提示するとともに、寄付金がどのように利用されるかについても明確に伝えることが大切です。

パートナーを見つける

大規模なプロジェクトの場合は、ほかのクラブからの資金的協力が必要な場合もあります。例えば、クラブの奉仕プロジェクトで1,000ドルが必要だった場合、ロータリーのアイデア応援サイトから資金の面で協力してくれるパートナーを探すことが可能です。必要に応じて、追加のパートナーを求めることもできます。プロジェクトを掲載すると、トップページの「プロジェクトのスポットライト」に表示されたり、ロータリーの出版物で紹介される可能性があります。

サポーターの意欲を高めるプロジェクト概要を書く

寄付者を圧倒せずに、寄付への意欲を高めるような概要文を書くことが重要です。なかなか難しいかもしれませんが、プロジェクトへのサポートをより多く得るために、分かりやすい概要を書くことが

求められます。以下にコツをご紹介します。

- ・友人や同僚と話しているかのようなトーンで書く（業界用語や技術的専門用語は避ける）
- ・1つの長い文章で1段落としない（2～3行の文章に分ける）
- ・最も重要な情報を強調するため、各段落に小見出しをつける
- ・リストは箇条書きにする
- ・大文字だけを利用するのは避ける（英語の場合）
- ・書いた文章を読み直す（できればほかの人に読んでもらい、誤字脱字や文法の間違いを正してもらう）

プロジェクトの目標を明確に

プロジェクトで達成したい目標を明確に示し、それに必要なリソースを挙げましょう。このためにも、プロジェクトの概要を紹介する際は、支援者に目的が分かりやすいよう、箇条書きを利用した簡潔な文章にしましょう。

写真を撮る

プロジェクトの概要を掲載する際、達成しようとしていることを表現する写真を掲載することをお勧めします（できれば受益者の写真）。写真を掲載する場合は、著作権の問題がないことを確認しましょう。

寄付へのお礼は迅速に

寄付を受け取ったら、迅速に寄付者にお礼をすることが大切です。その後、プロジェクトの進捗レポートや追加の資金ニーズに関する情報を送るようにします。しっかりと報告することで、再度寄付をしたいという意欲につながる可能性があります。

ソーシャルメディアを活用する

クラブのフェイスブックやツイッターのページに、プロジェクトが掲載されたアイデア応援サイトのリンクを掲載します。また、これらのソーシャルメディア上で、これまでに集まった寄付額や必要な支援についての情報を掲載するとよいでしょう。さらに、クラブのウェブサイト、ニュースレター、Eメールアドレスも含めましょう。



エイズ孤児のための孤児院建設プロジェクトでボランティアをする米国のロータリアン（ザンビアにて）

ロータリー・ニュース

次回《9月5日》の卓話予定

テーマ「ローターアクトについて」

地区ローターアクト委員会 委員長 佐藤 佳一 様
(紹介者 友添 辰哉 会員)